

🔍 シラバス参照 / View Syllabus

授業情報 / Class Information

[科目一覧へ戻る / Return to the Course List](#)

2020/05/12 現在 / As of 2020/05/12

- [基本情報 / Basic Information](#)
- [詳細情報 / Detailed Information](#)
- [授業計画詳細情報 / Class Schedule Details](#)

基本情報 / Basic Information

開講科目名 / Course	全学総合講座(地域活性化システム論ーこれからの「まちづくり」のヒントを探る) / INTERDEPARTMENTAL LECTURES(SYSTEMS FOR REGIONAL REVITALIZATION:HINTS FOR FUTURE COMMUNITY)
時間割コード / Course Code	11983
開講所属 / Course Offered by	大学全カリ総合科目 /
ターム・学期 / Term・Semester	2020年度 / 2020 Academic Year 秋学期 / FALL SEMESTER
曜限 / Day, Period	金4 / Fri 4
開講区分 / semester offered	秋学期 / Fall
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	高松 和幸

担当教員情報 / Instructor Information

教員名 / Instructor	教員所属名 / Affiliation
高松 和幸	経営学科 / MANAGEMENT
授業の目的・内容 / Course Objectives	<p>地域活性化をキーワードに、地域特有の活性化とまちづくりについて、その制度や人的、社会諸資源から取上げます。地域活性化システム論では、地域やまちの置かれている状況やそのまちが持っている潜在力とは何かについて考え、様々な取組事例を紹介します。また、比較的簡単な説明と同時に、各市町村の創意工夫にあふれた取組みが、どのように地域特性となるかも垣間見ることになります。それをシステム論として共通の土壌に載せ、それぞれの地域が相対化されることで、その枠組みを利用しての地域活性化の一般化を期待しています。わが国の地域活性化の方向が学べる唯一の授業です。</p> <p>この科目は内閣府等の協力を得て実現しました。個別テーマはシラバスのとおりですが、わが国の地域活性化の最先端の活動や問題を中心に、テーマ設定を行っています。</p> <p>この結果、地域の中で起きている様々な実情が理解できると共に、地域の課題についての新たな認識と共に、自分が住んでいる地域や将来住むかもしれない地域の可能性に関して、示唆に富んだ内容が展開されることはいうまでもありません。</p>

	この講義を通じて、地域で求められる人材に関する具体的な問題意識を得ることができであろう。
授業の形式・方法と履修上の注意 /Teaching method and Attention the course	ゲストの都合などで授業が前後する場合があります。 積極的に質問することと真摯な態度で挑むことを望みます。 遅刻は認めません。 テキスト・参考文献:その都度、指示します。
事前・事後学修の内容 /Before After Study	事前: 地域での出来事の一般知識 事後: 地域活性によって求められる人材
テキスト1 /Textbooks1	書籍名 /Title 著者 /Author name 出版社 /Publisher ISBN /ISBN その他(任意) /other
テキスト2 /Textbooks2	書籍名 /Title 著者 /Author name 出版社 /Publisher ISBN /ISBN その他(任意) /other
テキスト3 /Textbooks3	書籍名 /Title 著者 /Author name 出版社 /Publisher ISBN /ISBN その他(任意) /other
参考文献等1 /References1	書籍名/件名 /Title 著者 /Author name 出版社/URL /Publisher ISBN /ISBN その他(任意) /other
参考文献等2 /References2	書籍名/件名 /Title 著者 /Author name 出版社/URL /Publisher ISBN /ISBN その他(任意) /other

参考文献等3 /References3	書籍名/件名 /Title 著者 /Author name 出版社/URL /Publisher ISBN /ISBN その他(任意) /other		
評価方法 /Evaluation	授業への貢献度50%、最終レポート30%、質疑応答20% 最終レポートでは各ゲストの中から5人を選び、そのテーマ・内容をレポートし、選んだ理由及び感動した内容を各々A4用紙1枚程度(1,000~2,000字程度)にまとめ、5枚(5人)以内で提出すること。		
関連科目 /Related Subjects			
備考 /Notes			
到達目標 /Learning Goal	身近な難問や関心を学問に結び付け、現代社会に必要な教養を習得する動機づけとし、将来、様々な知的領域を探求できるようにする。		
回 /Time	授業計画(主題の設定) /Class schedule	授業の内容 /Contents of class	事前・事後学修の内容 /Before After Study
1	ガイダンス 高松和幸	コーディネーターによるオリエンテーション	
2	持続的に地域に関わり地域の持続性を高めるということ (株)トビムシ 代表取締役 竹本吉輝	株式会社トビムシ設立後、岡山県西粟倉村、東京都奥多摩町、岐阜県飛騨市、福岡県八女市など日本各地で展開してきた、地域ごとに機能とスケールを整えた森林業経営体や地域商社の創設、運営事例などを紹介する。	
3	人口減少時代の国土のビジョン 地域活性学会顧問 舘 逸志	経済企画庁に入庁以降、インドシナ開発や地域再生など内外の開発政策に関わる業務に40年近く携わってきており、地域活性化システム論として、その実務経験に基づく知見を講義する。	
4	紙製飲料容器カートンが地球温暖化防止に貢献 森を育む紙製飲料容器普及協議会事務局長 世木田大介	大手印刷会社に入社。液体用紙パック販売営業、販売促進を担当。2004年に、もりかみ協議会を発足させ、事務局で従事する。地球温暖化防止のために生活の中で誰もが貢献できる飲料容器について講義する。	
5	地域プロデューサーがつくる地域ブランド 廣川 州伸 一般財団法人WNI 気象文化創造センター理事	コンサル会社、広告会社を経てコンサルタントとして独立。新事業開発やブランド戦略立案を支援。その関連で地域活性化に関わり、全国各地で地域価値を高めるイベントの企画・運営を推進。その実務を講義する。	
6	映像を用いた地域活性化 外部講師(金属製品加工会社代表)	大学があるまちを展開するにあたりまちの現状を見ると、キャンパスより先に町づくりをしなくてはならないと考え、学生と市民を巻き込んだの映画製作を行った、その道程について講義する。	

7	事前復興で首都直下地震に備える 東京都立大学 名誉教授 中林一樹	東京都における防災都市づくり対策(地域危険度測定や推進計画)および事前復興対策(復興施策マニュアル・復興プロセスマニュアル・グランドデザイン等)の策定・改定に委員会委員・座長として指導してきた。	
8	埼玉県の林業と木材産業 加治 正芳(加治木材 代表)	実家の材木商を継ぎ木材業組合員として広報に携わる。その過程で埼玉県の林業史や性質などを学び、日本木青連にて関東地区長として関わる。現在と過去を見直すことで今後の林業の可能性についての講義をする。	
9	ローカル線は心の栄養剤 元いすみ鉄道(株)代表取締役社長 鳥塚 亮	千葉県いすみ市を走る赤字鉄道路線の復興のために社長に就任。就任後、数々のドラマ、マスメディアを生み出し、現在、観光地としてのいすみ鉄道として復活させた活動について講義する。	
10	自分自身を活性化するAooを発見しよう! (株)ヌールエ工代表取締役 筒井 一郎	プロデュースとアートディレクションが専門。オリジナル作品「動物かんきょう会議」等、企画開発の最前線にいる。現場体験を活かし、AI時代に必要なクリエイティブな自分自身となるための体験を提供する。	
11	日本の農業・農村をめぐる課題と私たちの食の未来 農林水産省大臣官房政策課上席企画官 木村崇之	農林水産省において、これまで農業の成長産業化や農業法人の経営支援を担当。近年の農政改革の取組と成果、農業の現場で進む技術革新等について講義する。	
12	地域創生 成功の方程式 木村 俊昭(東京農業大学 教授)	内閣官房シティマネージャー、日本地域創生学会会長、地域活性学会常任理事等を務める。実学・現場重視の視点で、地域創生の本質、「五感六育」構想と実践事例を講義する。	
13	JTBの地域交流事業 綿石 隆人(株式会社JTB 法人事業本部 地域交流事業推進担当部長)	JTB 入社後、法人営業を中心に支店勤務を経て、本社で法人事業、地域交流事業の新規事業開発を主に担当。実務経験を通じて、JTBグループの地域交流事業の取組みと新規事業事例を講義する。	
14	地方創生スタートアップの奥義 谷中修吾(一般社団法人INSPIRE 代表理事/総合プロデューサー)	政府機関・民間企業の戦略立案・実行支援に従事した後、国内最大級の地方創生イノベーションプラットフォーム INSPIREを創業した。まちづくりのビジネスデザイン技法について講義する。	